卒業論文

「バズった」ツイートにみるジェンダー規範のいま

2019 年度入学
九州大学　文学部　人文学科　人間科学コース
社会学・地域福祉社会学専門分野
1LT19003G　小川文大
2023 年 1 月　提出

要約

第 1 章では、従来の研究においてジェンダー規範がどのように捉えられてきたかということについて整理する。加えてジェンダー規範に関しての近年における社会的意識について、瀬地山角（2020）の研究や NHK 放送文化研究所（2020）が実施した意識調査の結果、また伊藤公雄ら（2011）の論を踏まえた上で本研究の目的を提示する。女性は育児や家事、また介護といったケア労働の主体として、その役割に従事させられてきた。また伊藤ら（2011）が「見られる性」と表現したように、見た目や振る舞いに関してもさまざまな規範が女性には存在した。一方で男性は社会に出てお金を稼ぐことが「男らしさ」に結びつく規範となっており、近代的なジェンダー規範は「男は外/女は内」という言葉に象徴される。しかし近年の日本社会において、ジェンダー平等に関する意識は特に高まってきている。それは意識調査の結果や、テレビコマーシャルの炎上という社会現象を取り扱った瀬地山（2020）の研究に見ることが出来る。「男/女はこうあるべき」というジェンダー規範はもはや時代錯誤であるという思潮が主流となっているといえる。しかしこれはあくまで“社会”レベルで意識を捉えたときの話である。SNS に目を移せば、“個人”レベルの意識や事象を観測することが出来る。そして、この異なるレベルの意識間には大きなギャップが存在する。つまり、未だにジェンダー平等の実現を阻害する規範的な意識が深く根を張っているということだ。本研究の大きな目的は、社会の輪郭をなぞるだけでは捉えることのできないジェンダー規範を取り巻く実態を、SNS という媒体を通して捉えることである。またそれと同時に、本研究領域における“個人”レベルというミクロな視点と SNS の有用性を示す試みでもある。

第 2 章では SNS のうち、今回は Twitter を用いた分析方法についての概要を示し、第 3 章では実際の分析に移る。分析は「バズった」＝多くの注目や共感、意見を集めたツイートを対象とし、結果としてジェンダー規範についてさまざまな知見を得ることが出来た。「バズった」ツイートを通して、女性の見た目や振る舞いに関して多様な規範が存在し押し付けられる現状にあること、依然として家事や育児といったケア役割の主体として捉えられていること、また、男性よりも「脆弱」で「従順」であるべきという規範があることが見て取れた。男性については、「社会に出て活躍すること」が「男らしさ」と結びついており、特に育休取得に関する問題と関連したツイートが散見された。また、ジェンダー社会を構築・維持し、家事や育児について「無理解」な存在としての男性像が、世の中の「男性」という主語に含意されているという現状も見て取れた。加えて、男性の趣味や振る舞いについても、いわゆる「男性的」な規範が投影されているツイートも見られた。

第 4 章では上記の分析を小括的にまとめたうえで、考察および本研究における限界と課題について論じる。「バズった」ツイートを通して、ジェンダー規範についてその多様な現状を掴むことができた。それと同時に、“個人”レベルのミクロな視点をもって臨むことが現代のジェンダー問題を探るうえで必要であること、その上で SNS という媒体がいかに有用であるかということを示すことが出来た。しかし一方で、分析の過程で得られた疑問や考察が仮説の域を超えず、現状では社会の様相を示す一般的な論として昇華するに至らないという課題も生じた。例えば、ジェンダー規範意識に関する世代間のギャップがいくつかのツイートから見えたが、今回の分析方法ではあくまで考察に留まった。本研究における考察と疑問をきっかけとして、SNS を用いた分析方法をより洗練し、さらに深くジェンダー規範について探っていくことが今後に残された課題である。

目次

はじめに.....1
1 先行研究の整理.....2
1.1 女性のジェンダー規範と性役割.....2
1.1.1　ケアにおける主体としての女性.....2
1.1.2　性的対象としての女性.....3
1.2 「男らしさ」と役割.....4
1.3　ジェンダー規範の機能.....4
1.4　男の生きづらさ／女の生きづらさ.....5
1.5　ジェンダー規範をめぐる“社会的”意識のうねり.....6
1.6　社会とジェンダー意識.....8
1.7　ジェンダー規範を捉え直すことの必要性.....9
2 分析方法の概要.....12
3 ジェンダー規範のいま―「バズった」ツイートから―.....14
3.1 「美しさ」に結びつく女性のあり方.....14
3.2 「従順」で「脆弱」な女性像.....19
3.3 「母親」であることが求められる女性.....23
3.4 男性を取り巻くさまざまな規範.....29
3.4.1 社会での活躍が求められる男性.....29
3.4.2 男は苦しむべき？.....31
3.4.3 「タバコ」「酒」「ギャンブル」＝男らしさ？.....32
4 結論と考察および、本研究における限界と課題.....34
参考文献.....37
資料：分析対象としたツイート.....38